

氏名	栗延孟	部署	社会福祉子ども学科	職名	准教授
研究分野	高齢者福祉、認知心理学、介護福祉				
学位	博士（心理学）				
学歴	2008年上智大学理工学部数学科卒業、2011年目白大学大学院生涯福祉研究科生涯福祉専攻修士課程修了、2014年首都大学東京大学院人文科学研究科人間科学専攻心理学分野博士後期課程修了				
経歴	2014年筑波大学非常勤研究員、2015年東京都健康長寿医療センター非常勤研究員、2017年日本文理大学助教、2020年浦和大学特任講師、2022年浦和大学特任准教授、2025年埼玉県立大学准教授				
所属学会（役職）	日本老年社会学会、日本心理学会、日本社会福祉学会、日本介護福祉学会、日本産業組織心理学会				

【2025年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	超高齢社会のモノづくり・デザイン：つくば型リビング・ラボの挑戦	共著	あり	ちとせプレス、280p	原田悦子・須藤智編 栗延孟ほか（分担執筆）	2025.11	
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	介護における良いこととは：家族介護者による「介護良いこと日記」の質的分析	共著	あり		老年社会科学, 47(4), 399-411.	馬場絢子, 栗延孟, 富田瑛智	2026.1
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	介護職員のワークエンゲイジメントに対する「介護良いこと日記」の効果	共同	老年社会学会, 千葉市		○栗延孟, 富田瑛智, 馬場絢子	2025.6	
2	大学生の日記記述が精神的健康に及ぼす影響ー“良いこと”の記録と教育的応用の可能性ー	共同	日本心理学会, 仙台市		○栗延孟, 富田瑛智, 馬場絢子	2025.9	
3	大学生の退屈傾向が日記記述に与える影響ー良いこと日記, 大学生生活日記, 天気日記による検討ー	共同	日本心理学会, 仙台市		○富田瑛智, 栗延孟, 馬場絢子	2025.9	
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	Reframing Family Caregiving through Reflection: The Good Things Diary of Caregiving	単著	CAARNet Blog (Caregiver Asia-Pacific Research Network) https://sites.google.com/view/caarnet/blog-write-for-us/Takeshi-Kurinobu		○Takeshi Kurinobu	2026.2	
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別		研究期間	
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	家族介護者支援ツールとしての「介護良いこと日記」の開発		研究代表者		2023.4～2026.3	

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ	○	15	社会資源の開発をベースにネゴシエーションやファシリテーションなど、ソーシャルワーカーがメゾ・マクロ領域で扱う技術をテーマとした。Webclassの解説動画や資料等で基礎的なことを学び、授業時間内はグループワーク等の演習を行う反転授業形式で学習を進めた。
2	ソーシャルワーク概論Ⅱ	○	15	ソーシャルワークの範囲や職域などをテーマとした。Webclassの解説動画や資料等で基礎的なことを学び、授業時間内はグループワーク等の演習を行う反転授業形式で学習を進めた。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	社会福祉専門演習Ⅱ	○	15	履修生2名に対して、統計等研究に必要な手法の演習、卒論のテーマ決め等を行った。
2	ソーシャルワーク演習Ⅱ		15	学生を少人数グループに分け、教員4名の専門分野事例を活用しながらソーシャルワーク技法について学びを展開した。
3	ソーシャルワーク演習Ⅲ		15	ソーシャルワークにおけるグループワークの手法を指導した。ロールプレイにより実際にグループワークを行うワーカーとしての体験を経て実践的な学びとなる形式としている。
4	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		15	ソーシャルワーク実習Ⅰの事後指導、ソーシャルワーク実習Ⅱの実習中指導・事後指導で丁寧にグループで振り返り等をするとともに、ソーシャルワーク実習Ⅲに向けて、個人票や実習課題の添削、事前学習の指導を行った。
5	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ		15	ソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの事後指導として、グループ学習の指導、報告書作成や報告会にむけての指導を行った。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ソーシャルワーク実習Ⅱ		2025.4～2025.7	実習先との連絡・調整、実習を行う学生の巡回指導を行った。
2	ソーシャルワーク実習Ⅲ		2025.8～2025.9	実習先との連絡・調整、実習を行う学生の巡回指導を行った。
3	IPW実習		2025.9～2025.10	実習先との連絡・調整、実習時の指導、報告会の運営等を行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	該当なし		主指導 名	副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	修士論文審査 副査	2025.7～2026.3	本学大学院の修士論文副査を行った。	
2	国家試験 科目別対策講座	2025.12	社会福祉士志望の学生に対して、ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）、ソーシャルワークの理論と方法（専門）の対策講座を行った。	
3	浦和大学非常勤講師	2025.4～2026.3	浦和大学の高齢者福祉論、ソーシャルワークの基盤と専門職、ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）、卒業研究Ⅱを非常勤講師として担当した。	
4	サイバー大学非常勤講師（2025年度担当）	2022.4～現在	サイバー大学の心理学入門、使いやすさの心理学を非常勤講師として担当した。	

4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	現場介護職員によるわたしたちの介護自慢大会	埼玉県立大学	介護実践知の共有と専門職のエンパワメントを目的とした継続企画	2025.7 2026.2
2	介護福祉士ファーストステップ研修	埼玉県介護福祉士会	家族や地域の支援力の活用と強化	2025.10
3	介護福祉士ファーストステップ研修	上尾中央医科グループ	家族や地域の支援力の活用と強化、セーフティマネジメント	2025.8 2025.10
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	埼玉県	埼玉県介護保険審査会委員（2025年度担当）		2023年～現在
2	日本ソーシャルワーク教育学校連盟	国家試験合格支援委員会委員（2025年度担当）		2021年～現在
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	学科等における委員会等	日本ソーシャルワーク教育学校連盟担当		2025.4～2026.3
2	大学広報活動	オープンキャンパス		2025.8
3	学生支援	1年生学生担任		2025.4～2026.3
4	学科等における委員会等	一般選抜業務を担当		2026.2
5	学科等における委員会等	大学入学共通テスト 監督補助		2026.1
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			